

## 会 議 録

会議名 (審議会等名)		シビックプライド向上計画策定委員会 (第3回)		
事務局 (担当課)		観光・シティプロモーション課 電話 042-707-7045 (直通)		
開催日時		令和4年9月29日(木) 18時30分～20時00分		
開催場所		相模原市役所 本館2階 第1特別会議室		
出席者	委員	8人(別紙のとおり)		
	その他	0人		
	事務局	5人 (SDGs・シビックプライド推進担当部長、観光・シティプロモーション課長、他3人)		
公開の可否		<input checked="" type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可 <input type="checkbox"/> 一部不可	傍聴者数	0人
公開不可・一部不可の場合は、その理由				
会議次第		1 開会 2 (仮称) さがみはらみんなのシビックプライド向上計画について 3 その他 4 閉会		

## 審 議 経 過

第3回会議について、主な内容は次のとおり。

### 1 開 会

### 2 (仮称) さがみはらみんなのシビックプライド向上計画について

事務局より、(仮称) さがみはらみんなのシビックプライド向上計画について、スケジュールと第1章、第2章の修正点などの説明を行った後、検討を行った。主な意見は次のとおり。

(牧瀬委員長) 市のマスコットキャラクターの画像を載せてはどうか。第2次シティプロモーション戦略の計画期間は、令和5年度までとなっているが、その令和5年度を待たずしてシティセールス推進指針と統合するというところでよいか。

(事務局) 戦略の期間中ではあるが、市の行財政構造改革プランでも、計画をできるだけ集約する方向も示されていることもあり、今回の計画に集約するという形である。

(倉澤委員) 委員のコラムの枠があるが、どんな内容を期待されているのか。

(事務局) それぞれの持つシビックプライドに対する考え方や、相模原市に対する思いなどを書いていただきたいと考えている。

(倉澤委員) これまで様々な検討をしてきて、とても良くわかる部分はあるが、一生懸命読まないとわからない部分もある。できれば、副読本、まとめのような形があるとわかりやすく伝わるのではないかと考えている。

(事務局) シビックプライドの計画だからこそ誰が見ても読みやすいような計画となることは大事であると考えている。

(倉澤委員) 発表情報はあるが、その後どうなったかという結果についても、伝えてそれを反省して次に生かせる形もどうかと思う。

(牧瀬委員長) 要望ということで受け止めてもらえればと考える。

(浅川委員) 前回の資料から写真やイラストが入り、全体が明るくなった印象がある。また、コラムについて顔写真を載せてはどうかと思う。

(事務局) 現状と課題の中に、株式会社読売広告社が実施しているシビックプライドランキング調査の順位がないが、入れたほうがよいか。

(水本委員) 市でイメージ調査、愛着度調査をされているので、その結果が載っていればよいのではないかと考える。

(黒田委員) インターネット、SNSが情報取得源になっているというのがあると思うが、我々でとった情報では、アナログ媒体も強いという結果がある。ファンで、いつも情報を取りに来てくれる方々は比較的インターネットやSNSは有効だ

が、不特定多数に情報を発信しようとする、アナログも併用しながらでない接点を作るのが難しい。また、ホームページの情報は一般的に情報を見つけづらい。相模原市の公式サイトが見やすいということも特色になるのではないかと思う。

(事務局) 本市でもホームページの階層が深くなっている状況は認識しており、現在変える方向で検討をしている。

(倉澤委員) 神奈川県内の移住定住支援のページを見た」が、画像などで印象を与え、クリックすると詳細が見られる、という形が発信としてはよいのではないかと思った。また、公民館のホームページ担当をしているが、紙の館報の人気は根強い。紙媒体の見やすさは大事であり、またそれとは別のもう一つの視点のものが必要かと思っている。

(水本委員) 誰もが手に取って情報に早くアクセスできることがシビックプライドへの理解を深める。紙媒体で手に取りやすいものや、アクセスしやすいホームページを作るということは、取組の中に入れていかなければならない。

続いて事務局より第3章の修正点などの説明を行った後、検討を行った。  
主な意見は次のとおり。

(倉澤委員) 第3章5ページの公園の写真は、麻溝公園だと思うが、もっと混んでいる写真を使ってはどうか。また、遊具の写真は、バスケットコートなどの写真の方がよいのではないか。また、5つの湖は具体的に名称を記載したほうが良いと思う。また7ページについて、1日1回だがJAXAの実験棟の見学をすることができる。これを入れてはどうか。また、ホームタウンチームについては、淵野辺駅の階段の大きなロゴの写真の方が分かりやすいのではないかと思う。

(黒田委員) 観光、レジャーとしての魅力と住むことの魅力は若干違うところもあり、そうした点を認識することが必要かと思う。住むならば、相模原はご飯が安くておいしいところが多いという印象がある。一方で、都心から1時間半くらいで来られるキャンプ場などについては、住む魅力というのではないかと思う。また、子育てしやすいといった点は、こうした取り組みや支援策が沢山あると住む意向が高まるのではないかという印象を持った。

(牧瀬委員長) 観光の計画が他にあるなら、それでよいと思うが、観光の要素が入るのであれば、ここになるのかというように思う。また、目標について、1、2、3とあるので、それに関連する内容がこれというのがあるとわかりやすいかと思う。また、写真を読み込むとAR(拡張現実)でコンテンツが展開するようなことができないか検討してほしい。また、QRコードを掲載し、プロモーション動画に誘導してもよいと考える。

(倉澤委員) 7ページの写真に、はやぶさのパラシュートは写真撮影が禁止されているのもあって、掲載できるのであれば特徴になると思う。

(事務局) このページを使って、職員を含め、相模原市のいいところとして伝えられるようなものにしたいと考えている。

(羽生委員) 第2章の現状の分析、そこから第3章につながる部分の関係性を1枚でまとめるような資料があるとよい。

(廣田副委員長) アピールポイントを見て、もしこれが居住目的であれば、何かもっとハード面の支援の内容が欲しいと思う。市が先行投資して、予算もしっかりかけている、例えば保育園の充実、企業誘致、祭りであったり、中古住宅支援などもそうだと思うが、そうしたものを前面に出していくのもよいのではないかと思う。

(倉澤委員) 生活の面では、楽しい場所もあるということと、支援策というのは分けて考えることも大事かもしれない。

(中村委員) もう少しわかりやすい内容になるとよい。相模原市を知ってもらうためには、何が必要なのか、何が必要だから何をアピールする、というような流れになるとよい。

(水本委員) シビックプライドというとどちらかというとインナープロモーション、住んでいる方々にアピールすること、シティプロモーションは外にいる人たちにわかってもらうということで、資料をみると取組は分かり、自然や宇宙は教育という面で売りになると思ったが、表現として、人の生活がどのようになるのか、それを市民の方々が分かるようなものが、シビックプライド、インナープロモーションに繋がるのではないかと思う。

(廣田副委員長) まちに関わる、というのが根本的なところとすると、広い世代が来たくなるような、くつろげる場所、休みの日などに気軽に来られて、その中でまちに関われるような仕掛けをつくったりして、それが3区にひとつずつあると面白いのではないかと思う。

(事務局) アピールポイントについて、人の生活が見えるようにという点は、検討したい。

(水本委員) メインターゲットは20代、30代に絞るなど、ある程度の絞り込みは必要であり、さまざまなコミュニケーション手法があるなかで、戦略的に絞り込んでいることは間違っていないと考える。

(倉澤委員) ターゲットを絞るといろいろなことも考えられると思う。

(廣田副委員長) コミュニケーションをすることで、自然とまちに対して愛着がわいてくると思う。誰かに伝えたいようなことを発信することで、メディアに取り上げてくれるかもしれない。

(水本委員) 住んでいる人が言いたくなる、というのが重要でシビックプライドが向

上したからこそ、外に対してもアピールしたくなる、そういう流れができると素晴らしいと思う。

(事務局) アピールポイントの表現の仕方やまとめ方は、もう1回整理させていただきたい。

続いて事務局より若手職員のワーキング、オープンハウスの実施について説明を行った。

### 3 その他

事務局より、今後の本委員会の開催時期について説明を行った。

### 4 閉 会

以 上

シビックプライド向上計画策定委員会（第3回）委員出欠席名簿

	氏 名	所 属 等	備 考	出欠席
1	あさかわ 浅川 あゆ	学生		出席
2	くらさわ よしあき 倉澤 良明	公募委員		出席
3	くろだ ともなり 黒田 知誠	株式会社スポーツクラブ相模原 広報部 部長		出席
4	なかむら かずき 中村 和希	公募委員		出席
5	はぶ ひろと 羽生 宏人	独立行政法人宇宙航空研究開発機構 宇宙科学研究所 教授		出席
6	ひろた しずか 廣田 静香	公益社団法人 相模原青年会議所	副委員長	出席
7	まきせ みのる 牧瀬 稔	関東学院大学 准教授	委員長	出席
8	みずもと ひろとし 水本 宏毅	株式会社読売広告社 都市生活研究所 エグゼクティブリサーチディレクター		出席
9	やまざき ゆうき 山崎 勇貴	公益社団法人 津久井青年会議所 理事長		欠席